

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果報告

先日、文部科学省から、全国学力・学習状況調査の全国平均、神奈川県平均が発表されました。すみれが丘小学校の6年生は、国語・算数ともに全国平均・神奈川県平均を上回っていました。調査結果についてお知らせします。

児童質問紙(全国基準)



児童質問紙(神奈川県基準)



国語の結果

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			本校	神奈川県(公立)	全国(公立)	
全体		14	73	66	67.2	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	77.7	70.1	71.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	68.3	64.3	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	76.1	70.4	72.6
		B 書くこと	1	28.2	25.6	26.7
C 読むこと		3	78.9	70.4	71.2	

算数の結果

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			本校	神奈川県(公立)	全国(公立)
全体		16	73	63	62.5
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	76.3	67.1	67.3
	B 図形	4	62.0	50.0	48.2
	C 測定	0			
	C 変化と関係	4	79.2	72.3	70.9
	D データの活用	3	74.6	65.2	65.5
評価の観点	知識・技能	9	77.0	67.8	67.2
	思考・判断・表現	7	68.0	57.2	56.5
	主体的に学習に取り組む態度	0			

学習面で主に良かった点

【国語】

- 文章を「読むこと」についての力がついています。
- 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心をとらえる力がついています。
- 漢字を文の中で正しく使うことができます。

【算数】

- 比例などを含む、伴って変わる二つの数量の関係についてよく理解しています。
- () を用いた式や、四則混合計算などの計算技能が高い結果になっています。

学習面で主にこれから伸ばしたい点

【国語】

※図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することや、文章を読んで理解したことに基ついて、自分の考えをまとめることに課題がありました。
⇒評価の観点においては、「思考・判断・表現」の面で課題が認められました。これらの力を伸ばすには、まずは自分の考えをもつこと、次に自分の考えを表現することが大切です。話し合いや資料の読み取りなど通じて得た情報を検討し、自分の考えを組み立てること、そして相手意識をもって多様な方法(対話、スピーチする、文章に書くなど)で表現する学習活動を進めていきます。

【算数】

※示された場面を解釈し、論理立てて説明することに課題がありました。
⇒国語科と同じく、まずは自分の考えをもつこと、次に表現するという学習活動を行っていきます。算数においては、式や図で表現したり説明したりすることができるように、多様な方法で求め方を考え、友だち同士で説明しあう時間をとります。必要に応じて既習事項や基礎的内容に戻って確認する時間も大切にしていきます。

生活意識調査より

- ①算数や英語の学習を好きと考えている児童、②学級の友達との話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできていると考えている児童、③いじめはどんな理由があってもいけないことであると考えている児童が多かったです。
- めあてや目標を立てることへの意識を高めることができるよう、活動や節目ごとに振り返りを行い、めあてをもつことができるようにしていきます。
- 困ったことがあるときに、相談できる選択肢を広げるべく、教科担任制を継続したり、SOS の出し方プログラムをカリキュラムに取り入れたりしていきます。